

柵池エンジョイスキーキャンプ

- 開催日 2018年12月26日～12月29日
- 会場 柵池高原スキー場/農文協柵池センター（長野県小谷村）
- ディレクター名 村中 達哉（むらじ）

■キャンプのねらい

- たっぷり滑り込むことで得られる充足感や満足感を味わう
- 目標をもって取り組み、「これができた！」という実感を次へのステップにつなげる
- 生活もスキーも仲間と思いきり楽しむ

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ばるさん、ぴげ、とっくり
ペッタ、メロス、G、カイザー、りる、よもジ、れもん、みり

■活動内容

<1日目>
集合、柵池高原到着
雪遊び

<2日目>
スキーレッスン①②
グループタイム

<3日目>
スキーレッスン③④
スタンプ大会

<4日目>
スキーレッスン⑤
移動、解散



柵池高原に到着！さっそくゲレンデに飛び出し、まずは雪遊びです。



「スタッフを雪で埋めよう！」いつの間にか、みんな協力態勢です。



エンジョイ恒例のカードゲーム。いつでも友だちとエンジョイです。



お待ちかね！2日目からスキーのスタートです。



まずは思い出しから。何度も滑走して、自分の滑りを思い出します。



中級班は、2日目からさっそく中級斜面へ。技術向上を目指します。



2日目午後には、かなり滑りも安定してきました。



どれも美味しい農文協の食事。4日間のパワーの源です！



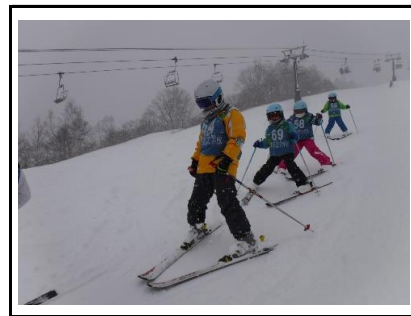
3日目に向けて、出し物の練習タイム。さて、どんなものになるかな？



降雪にも負けず、3日目のスキーレッスンスタート！



上達目指してレッスン。滑走フォームの意識も重要です。



3日目になると、多くの班が中級斜面にチャレンジ！見事な滑走です。



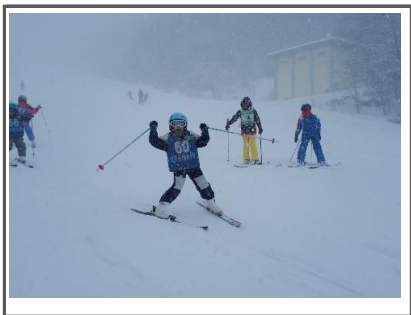
夜は恒例のスタンツ大会。各班工夫を凝らした出し物の発表です。



今年度も笑いの絶えない、大盛り上がりでの時間でした！



いよいよ最終日。短い時間の中でまとめの滑走です。



時間の許す限りとことん滑ります。滑りもキレイになりました。



中級班はさすがの滑り。見事なパラレルターンを披露です。



次は春！会津たかつえエンジョイスキーで会いましょう。

■キャンプのエピソード

好きこそモノの上手なれ

これはエンジョイスキーキャンプで大事にしているテーマであり、子どもたちにも初日に伝えていることです。スキーが上達するためには、まずは楽しみ、好きになること。そんな願いを込めています。

それを象徴する場面のひとつが、中級班のリフト上での出来事。今回は毎日雪が吹き付ける中で、特にリフト上はかなり寒い環境でした。

そんな過酷とも言える環境中で、子どもたちは何をしていたか？なんと担当スタッフをとにかく質問攻め！「上手くなるためには？」と代わる代わるに質問していたのです。担当スタッフの口が休まらないほどの質問攻めは、まさに「好き」の証でしょう。そんな気持ちを育める場でありたいと、強く願っています。

エンジョイ恒例！スタンツ大会

冬のエンジョイスキーキャンプでは、3日目夜の「スタンツ（出し物）大会」が恒例イベントです。今年度も各班ユニークな出し物で大盛り上がり！そこで、今回のスタンツのテーマを一部紹介します。

- 「このスタッフは誰でしょうクイズ」
- 「こんなスキーは嫌だ」
- 「スキー太郎物語」

クイズに、オリジナルの物語の劇にと、どれも面白い発想ばかり。そして何よりステキだと感じるのは、発表者のみならず観ている全員が笑顔になれる発表であることです。「分かる！」と共感しあえたり、「なんだそれ～」とユニークなものに笑ってしまったり。班や学年の枠を超えて、笑顔になれる時間をみんなで共有しあえること。何よりも幸せなことだと改めて感じさせられる時間でした。